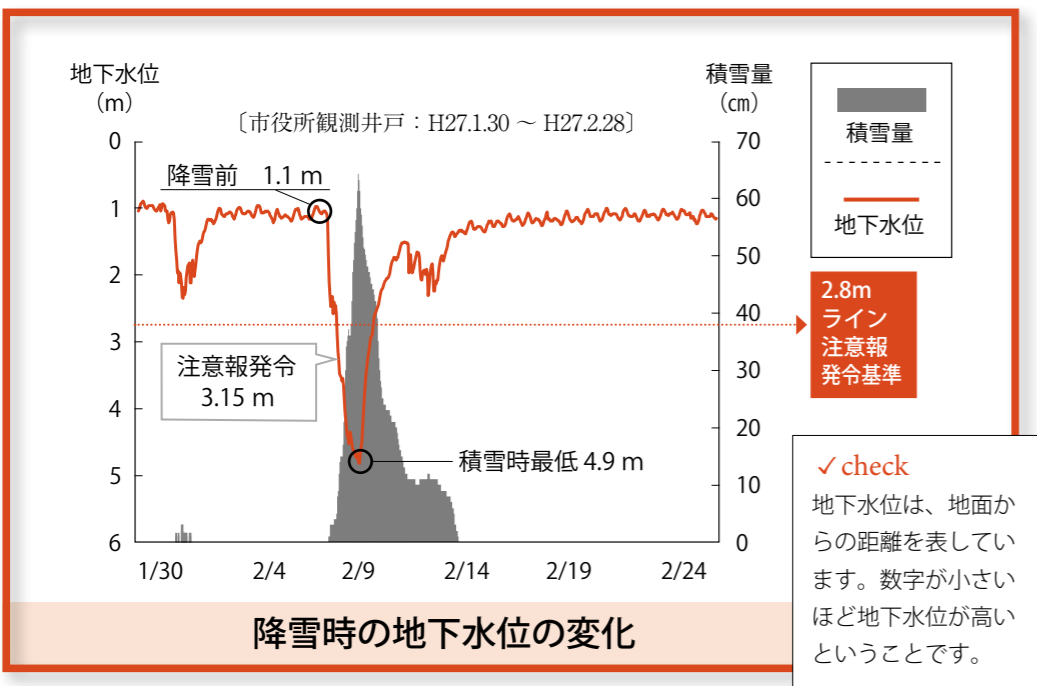


# 大切な地下水を守るため 消雪のための水の使用を控えましょう



降雪時の地下水位の変化

## 地下水位が低下する冬期

上のグラフは、今年1月末から2月までの積雪量と地下水位の変化を表したもので、降雪があった時は、地下水位が低下しています。特に2月9日前後は、降雪前に1.1mであった地下水位が、雪が降りだしてから急激に低下していき最低で4.9mまで下がりました。このように、毎年、冬期に雪が降ると消雪で大量の地下水が使用され、極端に地下水位が低下します。降雪時に低下した地下水位は、雪が解け、その水が地下に浸透し数日後に回復します。しかし、降雪が長く続くと、地下浸透するよりも多くの水が使用され、地下水位

の低下が続きます。

## 地下水の塩水化被害

地下水位の低下が長く続くと、海の水が、地下水側に入り込む塩水化を引き起こす恐れがあります。塩水化が極端に進行すると、水を飲むことができなくなったり、農作物に被害が生じるなど生活に影響を及ぼします。いったん悪化した地下水質は、もとの戻るまでに長い年月を要することになります。

## 節水にご協力ください

市では、地下水位が2.8mより低下し、その状態が長く続くと予測されるときに地下水位低下注意報を発令し、節水を呼びかけています。注

# 特集 私たちの水源を守ろう

## — 敦賀の地下水 —

日常生活を送る上で欠かすことのできない「水」  
私たちが使っている水の水源は貴重な地下水です  
大切な水源を守るために地下水について考えてみましょう

## 地下水は限りある資源

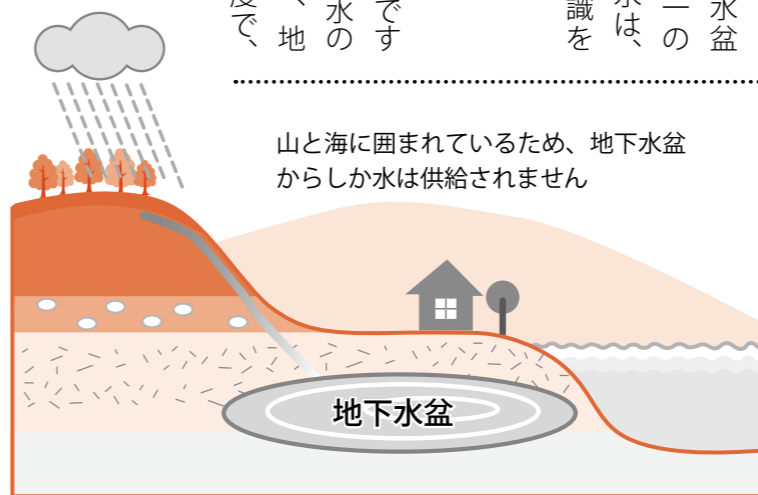
敦賀の水は古くから豊富でおいしいといわれ、上水道の水源はすべてその恵まれた地下水でまかなってきました。敦賀には、雨や雪が地面に浸透して、敦賀平野の大きな水がめである「地下水盆」が形成されています。この地下水盆が私たちの使う水の水源となっています。

しかし、山々に囲まれている敦賀では、この地下水盆が私たちの使う水の唯一の水源のため、私たちの水は、私たちが守るという意識を持つことが大切です。

## 地下水の利用状況

地下水の源は、雨や雪ですが、雨や雪として降った水量を100%とした場合、地下水となるのは25%程度で、残りは蒸発したり河川から直接海へ流れてしまいます。

私たちが使う水に



は、飲み水、炊事や洗濯などで使う生活用水、工場で使われる工場用水などがあり、過剰に汲み上げるとさまざまな被害が生じます。そのため市では1日当たりの揚水量を15万m<sup>3</sup>以内(25プール約420杯分)にすることを目標にしており、現在は、1日当たりの揚水量は平均して約14万m<sup>3</sup>で推移しています。

意報の発令は、市ホームページや市政広報ラジオなどでお知らせします。

地下水を守るためには一人ひとりの意識と取り組みが大切です。限りある資源である地下水をいつまでも使い続けられるように降雪時には節水にご協力をお願いします。

